

令和7年度第1回学校運営協議会議事録

- 1 日 時：令和7年5月20日（火）16：00～17：15
- 2 場 所：本校会議室
- 3 出席者：学校運営協議会委員5名
本校職員8名（校長、副校長、事務長、各課主任、総務課員）
計13名
- 4 次 第：
 - 1 開 会
 - 2 学校長挨拶
 - 3 会長及び副会長の選出
 - 4 協 議
 - （1）令和7年度学校経営計画について
 - （2）大野高校への支援事業について
 - （3）その他
 - 5 その他
 - 6 閉 会

5 内 容：

- 1 開 会
- 2 学校長挨拶

日頃から本校の様々な教育活動にご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。学校では、男子3名、女子10名の計13名を迎え、全校生徒45名でスタートしている。残念ながら今年度も定員の過半数を上回ることができなかったが、何とか21名以上の入学者を確保するため、引き続き取り組んで参りたい。本日は忌憚のないご意見をいただき、今後の学校運営に活かして参りたい。

3 会長及び副会長の選出

会長に野田雄二委員、副会長に眞下美紀子委員を選出した。

4 協議【質疑・意見交換】

（1）令和7年度学校経営計画について

C 氏：カリキュラム・ポリシーにある、「ICTを活用し・・・」とあるが、どのような内容のものか。

副校長：ICTについては、授業においては各教員がPCで作成した授業教材を各教室に設置されているプロジェクターを使用しながらわかりやすい授業を進めるなど活用している。

C 氏：カリキュラム・ポリシーにICT活用について盛り込んでいることから、今年度県内の高校でも採用となっている文科省が推進する「DXハイスクール」の事業に申請してもいいのではと考えたところであるが、大野高校ではDXハ

イスクール事業への申請はしているのか。申請をしていない場合、その理由があれば教えていただきたい。

校長：DX ハイスクールへの申請はしていない。本校へはまだ難しい部分がある
と判断した。事業の内容を確認して、次年度以降可能であれば考えたい。

A 氏：令和6年度と比較して、どのような部分が変更となっているのか？

校長：スクール・ポリシーや魅力化協働パートナーについては、昨年度と同様である。

(1)今年度の重点目標のア・ウ・オの表現を昨年度の内容から整理した。これに伴い、2ページの取組方針についても変更した。また、それぞれの達成指標の内容・数字についても昨年度の振り返りから変更した。

異議なし、承認

(2) 大野高校への支援事業について

B 氏：振興協議会の予算が増額とのことで、その中で入学者への支援が変更となるような話を聞いたが、具体的な変更について教えていただきたい

副校長：今年度予算については、6月末の振興協議会総会において正式に決定となるが、入学支援金がこれまでの5万円から7万円となる。

B 氏：入学支援金が増額となったことを各中学校の保護者や生徒にいつ、どのような形で周知する予定であるか。

副校長：昨年度は、高校説明会の案内をいただいた中学校において、支援金について周知していた。今年度についても案内をいただいた中学校において生徒・保護者へ周知する予定ではある。

A 氏：地域全体にアピールした方が良い。チラシを配布するなど町が支援していることを地域に知らせた方が良いと考える。

別件であるが、毎月の学校通信について印刷をもう少し濃くして欲しいという話も聞く。それだけ多くの地域の方々が学校通信を見ている証拠でもある。

B 氏：高校説明会での周知もあるが、町の広報も活用して、チラシと広報の2本立てで周知すると効果的ではないか。スピード感が大切である。

異議なし、承認

(3) その他

コース名に関するアンケート結果について

副校長説明：コース名に関するアンケートについては、昨年度の第2回協議会において議論となり、今年度再度協議することとした。

今回、本校生徒に対し、再度アンケート調査を実施し、資料のとおりの結果となった。結果を踏まえ、職員会議で協議し、各質問項目において、多くの生徒がコース名の変更については前向きではないことで理解し、生徒の意見も踏まえてコース名の変更はしないことの結論となった。各委員の皆様に

もご理解願いたい。

- C 氏：学校として、コース名を変更しないと決定したことについては尊重したい。
- 一方で、アンケートの質問項目の中には、新しいコース名にするという新鮮さという意味では質問内容から見て取ることができない。2月の協議会では、普通コースを進学コースにビジネスコースを地域ビジネスコースにという意見としたが、このことに対して生徒がどう考えるかということを知りたい。残念である。

コース名の変更にこだわるのは、中学生の目線で見ただけの場合、高校が変わることを示す1つとしてのコース名の変更があることを個人的には思っていることをお伝えしたい。

- C 氏：普通コースを進学コースにという意見は職員会議では（先生方から）出なかったのか。会議での様子はどうだったのか。

校長：学校としては、普通コースを進学コースに変更する意図は当初あったわけだが、アンケートの結果 普通コースでも生徒たちにとっては違和感がないということと捉えている。

会議で職員からの意見は特になかった。個人的には片方だけのコース名を変更することでもどうかと考え、生徒のアンケートも踏まえてどちらも変更しない方がよいと判断した。

異議なし、承認

(4) その他

各委員より

- B 氏：今年度は新たな県の高校再編計画が示される中で、2年連続で20名を下回っている状況からも特別な年と考える。協議会の開催が年2回の予定とのことであったが、途中1回でも協議会を開催していただきたい。そして、可能であれば地域の方も参加できるような会としていただきたい。

校長：協議会については、年2回と決まっている訳ではなく、3回開催している学校もあるので、協議会規則に従い、開催することは可能である。

- D 氏：協議会資料を事前に送付いただけると、内容をあらかじめ読み込んでから当日に臨めるので、事前に送付いただけると助かる。

副校長：次回より事前に送付させていただく。

- C 氏：他校での同様の会議では、様々な地域の団体や地域住民の方々と構成されていることに驚いた。また、生徒がオブザーバーとして出席しており、意見も述べていた。会議のあと、総探の発表と今年度の総探での取り組みについての説明を聞く機会にも同席し、非常に良い取り組みと感じたので、次回開催の参考にしていただきたい。

もう1点報告となるが、学校の理解をいただき大野高校の学校ポスターを作成した。作成にあたっては、「岩手県立大野高等学校サポーターズ」という任意団体

を組織し、その団体が作成した形とした。構成メンバーには本日出席の委員の方にもメンバーとなっていていただいている。組織の目的としては、大野高校の存続と入学者確保を目的として、今月又は来月に近隣市町村の中学校へポスターを配布する活動を予定している。

4 その他

＜学校より 資料の説明＞

- ・「いわて留学」（県外募集）について

町教育委員会了承のもと、県教委に協議に係る書類を送付したところ。

県教委からの正式な通知は、7月中旬となる見込みから、現在は申請中という形。

- ・一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォームについて

資料は、同法人の概要となる。

いわて留学を実施するにあたり、町教育委員会が同法人と契約し、プラットフォームのホームページに学校紹介の掲載やプラットフォーム主催の説明会や相談会に参加し留学生を募集していくこととなる。

- ・今後の県立高校に関する地域検討会議の開催について

久慈地区の開催が5月26日となっている。人数制限で傍聴は可能であるが、事前に申し込みが必要となる。詳しくは、県教委のホームページをご覧願いたい。

5 閉 会